



清住 教弘 氏



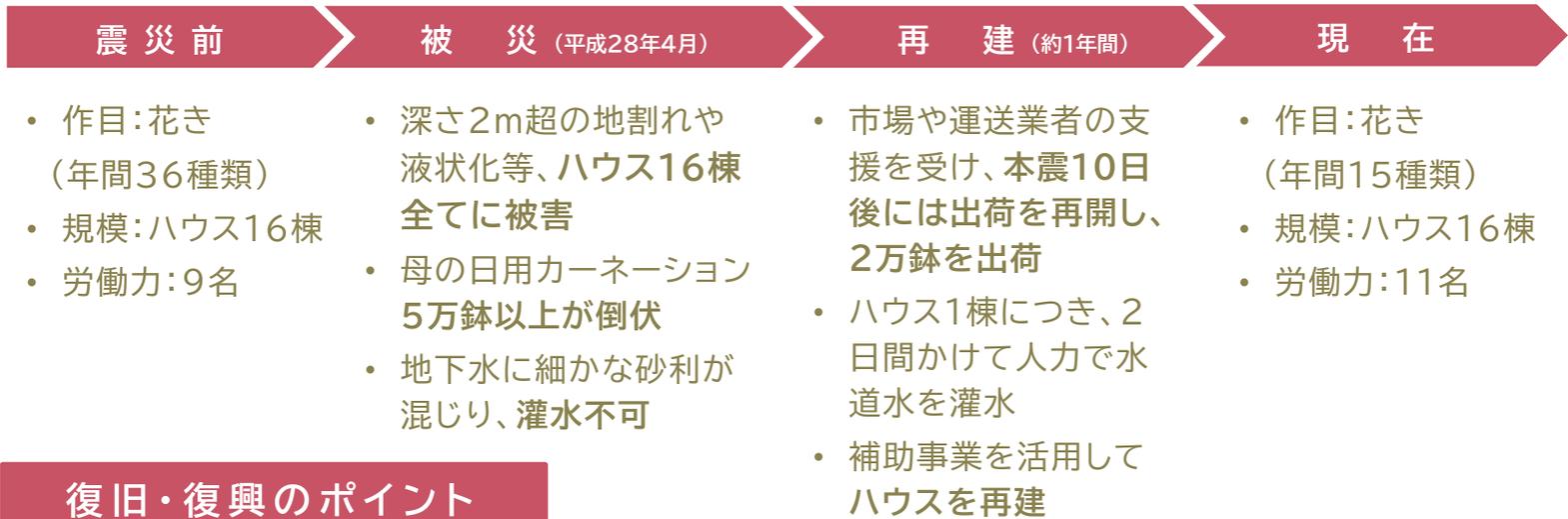
倒伏したカーネーション



現在のハウス内

『復興・復旧はできます。自分達、日本を信じて一緒に頑張りましょう。』
北陸の震災の被害にあわれた皆様へ、復旧・復興は必ずできます。
私達もまだ復旧・復興の途中ですが、日々少しずつできています。諦めなければ必ずできます。自分達、行政、周りの方々を信じて日々頑張っていきましょう。

復旧・復興の歩み



復旧・復興のポイント

- ・ 液状化、地割れしたハウス内一面に母の日用に育ててきたカーネーションが倒れているのを見て言葉を取り失い、しばらく何も考えられなかった。しかし、倒れても鮮やかな花をつける植物の力強い生命力に再起を決意した。
- ・ とにかく早く仕事が再開できるよう時間を意識した。再建に時間がかかると費用も高くなるので、本格的な再建の前にできるところは自ら修理し、できないところは手持ち資金の範囲で業者に依頼して修理した。